

自主貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 平成30年9月28日(金)

発行者 学校長 森 健太郎

所在地 神奈川区西寺尾三丁目10番1号

電話 045(401)3644 FAX045(431)0244

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

あたたかい錦台の熱い体育祭

体育祭実行委員長 荻野 誠子

60周年という記念すべき年に体育祭実行委員長を務めさせていただいて、本当に光栄でした。私が初めて錦台に着任した2年前、私は1年生の副担任でした。2年以上一緒に過ごして、信頼関係のある緑学年の3年生と一緒に活動していくのは本当に楽しく、そして心強く感じられました。60周年にふさわしい体育祭にするためにはどうするか、なにを工夫するかなど様々なことで悩みましたが、一緒に悩んで、大変だったことも、楽しく、いい思い出に変わっています。そんな体育祭までの道のりもなかなかうまくはいかず、天候には一番悩まされました。9月は残暑が続き、突然の大雨で学年練習も延期になり、本番までの3週間がとても悩ましかったです。体育祭が予定されていた15日の土曜日にも雨の予報が消えず、事前に延期という判断もさせていただきました。さらに、その開催予定の予備日には前日の深夜にかけて大雨が降り、本当にできるのかな、と前日は不安ばかりがつのっていました。体育祭当日、天候にも恵まれ、最後まで全ての競技を無事に終了でき、本当によかったです。

体育祭の日程変更、テスト2日前にも関わらず、体育祭当日には生徒のみんなが、よくここまでモチベーションを上げてくれたと感心しました。特に午後の部の学年種目や色別種目、クラスや縦割り共同種目の盛り上がりは熱かったです。他学年の種目の時も同じ縦割りのクラスを応援し、色別種目の時の応援も各色で決めた応援ソングやコールで盛り上がっていました。来年度以降も、他の色の声で隣の応援席の声が聞こえないくらい盛大に盛り上がっていけるよう、事前にクラスや縦割りの絆を深めていきたいと思っております。

実行委員長としてやらせていただき、改めて感じたことがあります。錦台の子どもたち、保護者の方々、地域の方々が「あたたかい」ということを身に染みて感じました。実行委員長として1学期から緊張していた私を、いつも応援してくださった保護者の方々、そして子どもたち。「荻野先生、頑張ってください」という言葉が私の心の奥の緊張をほぐしてくれました。また、私が仕事でミスがあったとき、どの先生方も「大丈夫!どうかなるから!」とポジティブに励ましてくださいました。いい先輩方に恵まれ、的確なアドバイスをいただきました。最後まで全力でやり遂げられたのは、私のことをサポートして

くれた周りの方々のおかげです。「自分1人ではここまでできませんでした」という、よく聞くフレーズがありますが、今の自分は素直に共感できます。

周りを大切に感謝の気持ちを忘れずに、日ごろから人間関係や信頼関係を構築し、教員



同士、または教員対生徒同士で手を取り合って、よりよい体育祭、よりよい錦台中学校を作っていけるようにこれからも努力してまいります。また今回の良い経験は思い出にして、よりよい教育活動が行えるよう学んでいきたいと思っております。これからもどうぞ、錦台中学校をよろしく願いいたします。